

事業概要表（草の根パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ラオス人民民主共和国
2. 事業名	ラオス木工職業教育校におけるトレーナーの技能向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>豊富な木材資源を有するラオスでは、木工家具製作が基幹産業になりうる。また 2016 年からの第 8 次国家社会経済開発計画では木工産業を最重要産業の一つと見なし、主要な輸出品目に成長させ、輸出することを目指している。しかしながら、現在、木材を効率的に利用して、多種多様な木工製品を製造するための技術が低く、精巧でデザインが美しい、商品価値が高い家具製作ができないことが課題となっている。またラオス国内にある木工コースを持つ職業教育校 16 校のトレーナーも十分な木工技術や指導力を持たないため、質の高い木工教育・実習ができていない現状である。</p> <p>今後優秀な木工技術者やトレーナーを輩出するためには、職業教育の中心的存在である職業教育開発機関（VEDI）および各県の職業教育校の木工トレーナーへの人材育成が急務となっている。技術者の木工製作技術と指導力を向上させ、十分な木工実習・指導を実施できるようにすることが求められている。</p>
4. プロジェクト目標	ラオスの職業教育校の木工分野における、指導レベルが向上する。
5. 対象地域	ラオス全国
6. 受益者層（人数規模）	<p>直接的裨益者：コア木工科教員 12 名（職業教育開発機関（VEDI）木工科教員 2 名及び県職業教育校（パイロット校）木工科教員 10 名）、VEDI 木工専攻学生 15 名</p> <p>間接的裨益者：県職業教育校木工科教員 6 名、県職業教育校木工科学生 160 名</p>
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コア木工科教員が『家具製作技能検定 2 級（日本規定準用）』相当の技術を習得している。 2. コア木工科教員研修とその後のフォローアップにより、コア木工科教員が VEDI 木工専攻学生や県職業教育校木工科学生に分かりやすく指導できる方法を習得している。 3. VEDI 木工科教員が、全国の県職業教育校の木工分野指導レベル向上のための施策を企画・主導できるようになる。 4. コア木工科教員が各自の学校で、習得した技術指導を実践できる。 5. 民間企業との間に構築するネットワークを通じ、VEDI 木工科教員と木工専攻学生が、産業界の動向や技術水準を理解する。 <p><活動></p> <p>日本人専門家と現地専門家により、コア木工科教員研修の実施とその後のフォローアップを実施する。また、技術力の高い民間企業とのネットワークづくりを進め、ネットワークを生かした技術レベル・知識レベルの向上を図る。</p>
8. 実施期間	2018 年 1 月～2022 年 7 月（4 年 6 ヶ月）
9. 事業費概算額	64,921 千円
10. 事業の実施体制	<p>カウンターパート（C/P）：職業教育開発機関（VEDI）</p> <p>（当会）日本人：プロジェクトマネージャー 1 名、木工専門家 1 名、 現地調整員 1 名、ネットワーク構築 1 名、国内調整員 1 名 短期派遣木工専門家 4 名</p> <p>ラオス人：プロジェクトオフィサー 1 名、（当会）木工トレーナー 1 名、 プロジェクトオフィサー補助 1 名</p> <p>C/P）コーディネーター 1 名、VEDI 木工科教員 2 名</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	認定特定非営利活動法人国際協力 NGO・IV-JAPAN
2. 対象国との関係、協力実績	IV-JAPAN はラオス国で 1994 年以來、教育支援および縫製、理美容、調理の各職業訓練による人材育成を行っている。また木工職業訓練は 2001 年から 2012 年までは断続的に短期訓練コースを、2013 年から 2017 年までは JICA 草の根事業（3 年間事業）で初級、中級、上級コース（10 ヶ月）を合計 6 期実施した。